

バイオテク作物：研究・安全性評価・規制

バイオテク作物はいかにして商品化されるか？

バイオテク作物は平均

13年

の歳月と

1億3000万ドル



の研究開発経費をかけて

商品化されます

政府による承認のプロセスだけで5～7年かかります

レギュラトリーサイエンス

75以上の試験¹が行われ、
新しいバイオテク作物の安全性を実証します。



栽培上の問題がないこと

- バイオテク作物が同じ系統の非バイオテク作物と同様に生育すること
- バイオテク作物が意図された性質をもっていること（害虫抵抗性など）



環境や有用昆虫に安全であること



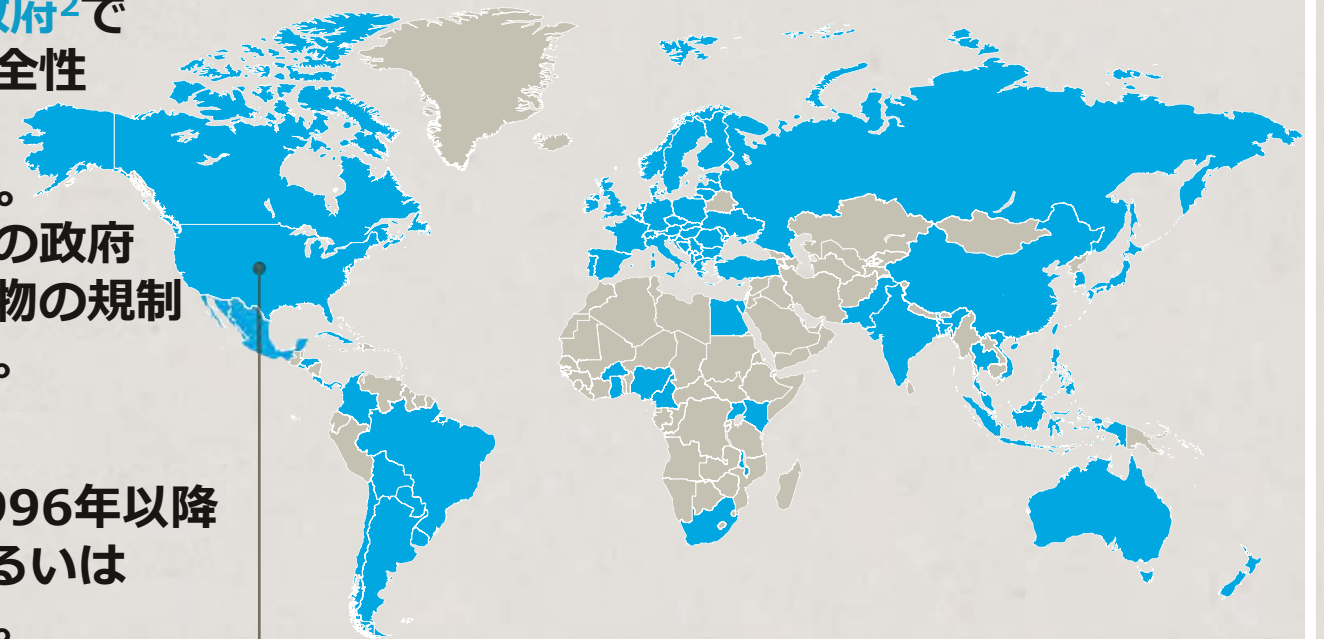
食品として安全であること

- 非バイオテク作物と同じ栄養素をもっていること
- 新たなアレルゲンをもっていないこと



安全性評価

世界で90以上の政府²で
バイオテク作物の安全性
評価が行われ、
承認されています。
多くの国では複数の政府
機関がバイオテク作物の規制
に関与しています。



バイオテク作物は1996年以降
70カ国³で栽培あるいは
輸入されています。

米国における安全性評価は以下の機関で行われます



（農務省）
栽培上問題ないか
チェック



（環境保護庁）
環境に対し安全で
あるかチェック



（食品医薬品庁）
食品として安全で
あるかチェック



¹近年みられるバイオテク技術の様々な用途における諸研究に基づきデュポン・パイオニア社が推定した数値 | ²バイオテク技術の新規用途についての審査を行う世界62カ国およびEU加盟国28カ国の諸機関を含む | ³出典：国際アグリバイオ事業団（ISAAA.org） | より詳しい情報は www.GMOAnswers.com